

ラスベガス旅行記 2022

2022/10/27 ~ 11/4



たのしいマジック&ラスベガス観光旅行、完全復活



目次

この本について	3	PART3 Magic30	
ここまでのあらすじ	3	2022年10月28日（金） Magic30 初日	31
		ETO Cafe	31
		North Premium Outlet	32
PART1 事前準備		会場受付	33
Magic30 の開催	5	シンフォニー・パーク	33
アラジンさん・よこくるさんの参加	7	ハンディキャップ優先入場権	35
アラスカ航空のチケットがキャンセル	7	会場入り（金曜日）	35
VIP チケットを買い逃す	9	ドミナリア・シールド	37
チャンピオンシップ予選のチケットを買い逃す	11	ダブルマスタース 2022 大乱闘戦（金曜日）	38
Go City All Inclusive Pass	13	Magnolia's で夕食	41
渡米のための諸準備	15	2022年10月29日（土） Magic30 2日目	43
なかなか返金しないBooking	17	会場入り（土曜日）	43
ユナイテッドの帰国便の変更	17	ダブルマスタース 2022 シールド（土曜日）	44
		会場内の時間潰し	46
PART2 ビバ！ラスベガス！		ダブルマスタース 2022 大乱闘戦（土曜日）	46
2022年10月27日（木） 出国日	20	プライズウォール	49
成田空港	20	会場離脱	50
ユナイテッド 33	22	QJ を交えて夕食	50
2022年10月27日（木） 入国日	23	フリーモントの夜（金曜日）	51
ロサンゼルス空港	23	2022年10月30日（日） Magic30 最終日	53
ラスベガス到着	24	Garden Court のランチバフェイ	53
フォー・クイーンズにチェックイン	25	会場へ	54
ハートアタック・グリル	26	ダブルマスタース 2022 シールド（日曜日）	55
フリーモントの夜（木曜日）	28	プライズ獲得とプライズウォール	57
ホテル送付への実績解除トライ（失敗）	28		

ベータドラフト	58	Bonanza Gift Shop	87
Magic30 終了	59	ホテルで荷物を置いて仮眠	87
落とし物が戻った	60	バトルフィールド・ベガス	88
ダウンタウン最後の夜	61	セニョール・フロックスで夕食	88
		Skypod at the STRAT	90
		ホテルに戻る	91
PART4 ラスベガス市内観光		2022年11月2日(水) 観光最終日	92
2022年10月31日(月) 3馬鹿観光旅行	65	チャイナタウンで朝食	93
よこくるさんの寝坊騒動	65	チャイナタウンの土産物屋	94
朝食バフェイ	66	Planet13	94
Mob Museum	67	エロ博物館 (Erotic Heritage Museum)	95
ゴーカート	68	原爆博物館 (National Atomic Testing Museum)	97
今夜のヘリコプター・ツアーを予約	70	人体博物館 (Bally's REAL BODIES)	98
サーカス・サーカスにチェックイン	70	Planet Hollywood で昼飯…はまだでした	99
セキュリティ・ボックスの修理	71	マダム・タッソー 蠟人形館	100
ヘリポートへ移動	72	Planet Hollywood レストラン	101
ラスベガスの看板とピンボール博物館	72	サーカス・サーカスをチェックアウト	102
ヘリコプター体験	73	空港へ	103
Fly LINQ Zipline	75	カウンター前で夜明かし	104
Tilted Kilt で夕食	76		
エッフェル塔に登る	77		
サーカス・サーカスに戻る	78	PART5 帰国	
2022年11月1日(火) 2馬鹿観光旅行	79	2022年11月3日(木) さらばUSA	106
サーカス・サーカスのバフェイ	79	ホテルの宿泊費	106
M&M ショップ	80	セキュリティ通過	108
FlyOver THE REAL WILD WEST	82	さらばラスベガス	108
The Big Apple Roller Coaster	83	サンフランシスコ	109
ビッグバス	85	2022年11月4日(金) 帰国	110
アーツ・ディストリクトで下車	86	日本に到着	110

この本について

本書は2022年10月27日（木）～11月4日（金）に筆者が米国のラスベガスに遊びに行った際の、いつものたのしい海外旅行記です。

なお、本書の読者には書くまでもないことだと思いますが、本書中ではしばしば「マジック」と称されているものはカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」のことです。

おことわり：本書での記述は執筆時点（2022年11月）での事実に基づいておりますが、コロナを巡る状況は日々変化しております、必要な入出国の手続きなどは古くなっているものもあるかもしれません。ご自身の渡航の際には、必ず最新の情報でご確認ください。

ここまでのあらすじ

2012年から海外でのマジックGP（グランプリ：大型大会）に遊びに行くようになった自分でしたが、2013年6月に「モダンマスターズ」のリミテッドGPがあると知り「こんな面白そうなイベントは二度とないかもしれん」と思いラスベガスまで遊びに行ったら、本当にGPが色々な意味で爆発的に面白かったうえ、自分はラスベガスという街の楽しさにすっかり魅了されました。このため以後は基本、ラスベガスでマジックの大型大会が開催されるたび遊びに行ったのですが（2015,2017,2018）、唐突にCovid-19のために2020年からは海外旅行自体に行けなくなってしまいました。

そんな中を2021年11月にだいたい無理をしてラスベガスに遊びに行ったのですが、この時にはCovid-19手続きのため随分と苦労をしたうえ、書類**トラブルで帰国が1日遅れる**というおまけもつきました。

2022年になると、ようやくCovid-19対策も世界的にゆるくなってきたので自分は嬉々として（マジックに無関係に）GWにタイに遊びに行ったのですが、ここで自分が**心筋梗塞を発症**して帰国を早めて緊急手術と一カ月の入院をすることになりました。幸いに手術は成功し予後も良かったものの、体力も衰え、食べ物も以前に比べれば全然喉を通らない6月に「ラスベガスで10月にMagic30周年の大型大会が開催される」という情報を得ることになります…。

PART 1

事前準備

	Combining fantastical theatrics, a three-time Grammy-winning soundtrack an... Normal ticket value: \$143.39 Quick view
 Book early	Las Vegas Strip Helicopter Tour  Premium attraction Soar over the Strip and take in the spectacular views on an exhilarating Las V...  Reservations required Normal ticket value: \$154.00 Quick view
 Book early	SkyJump at The STRAT  Premium attraction Get your adrenaline fix with an unforgettable visit to the Las Vegas SkyJump....

今回のラスベガス旅行の、ある意味で Magic30 よりも目玉になった計画。
「Go City」の3日パス（27116 円）で市内 30 以上のアトラクションをできるだけ回り、
かつ\$154 のお値打ちのヘリコプターツアーを回れるプランを立案（P.13）。

（なお結果は P.104）

渡米のための諸準備

あとは普通に「渡米」のための準備を粛々と進めることになります。とりあえず航空券とホテルそして Magic30 以外のさしあたっての必須事項は、こんな感じでしょうか。

- ・コロナ対策
- ・海外旅行保険に加入
- ・ESTA 取得
- ・通信確保

まずはコロナ対策からですが、昨年 11 月とはうって変わって、日米ともに**相当にゆるく**なっており、事実上「ワクチンを 3 度打ちしていればほとんどフリーパス」のようなものでした。渡米前に「陰性証明書」を要求するという 2 万円かかる儀式も不要になりました。

そしてこれは 8 月 24 日に発表されて狂喜したのですが、ついに「日本への帰国便に乗るためには海外で検査をして陰性証明書が必要」がなくなりました！やった！これで向こうでの数時間と、\$200 ドルほどの出費が不要になりましたよ！

多分、接種証明を持参して提示すれば普通に搭乗可能であると思われます。

ただし、たとえコロナの渡航に関する書類提出などが不要であったとしても、向こうでコロナで感染して発熱し入院の可能性はゼロとは言えませんが、このときに米国で入院する羽目になって

高額入院費で破産するリスクは避けねばなりませんから、コロナでの入院全補償のある海外旅行保険には絶対に加入すべきであると考えます。

自分は検討のすえ損保ジャパンの「物損補償などはナシの医療保険のみ」2320 円に加入しました。さすがに発症時のリスクを考えれば惜しむ金額ではないでしょう。

物損補償なども入れるとさらに保険料が何千円か跳ね上がってしまうんですが、よく読むと、それだけ取る割には「盗難は出るけど紛失とかじゃダメ」とかそんな感じだったので…。

次は ESTA の取得です。自分は 1 年前のラスベガス行きで取得したものの有効期限がまだ残っていたので不要ですが、アラジンさんなどは再申請と取得が必要。ちなみに \$14 から \$21 に値上げされていました（笑）。これは公式サイト（※1）（※2）でぼちるだけ。日本語でも行えます。

PART 2

ビバ！ラスベガス！！



ダウンタウンのバーガーレストラン「ハートアタック・グリル」のセクシーナースもといウェイトレス。吊るしているのは点滴袋…ではなくワイン（本文参照）。

ハートアタック・グリル

ホテルを出てよこくるさんと合流して、フリーモントのぶらぶらを開始。17時半を回ったばかりです。まだ夜はこれからですよ。

そして空腹になっても来たので、夕食はかねてから目をつけていた「ハートアタック・グリル（※1）」へと挑戦することにしました。

※1 <https://www.heartattackgrill.com/>

このバーガーレストランはひとことでいえば**下品**な店でコンセプトは「心臓病で入院」というか「心疾患になる高いカロリー食」と言って良いでしょうか。メニューはひたすら炭水化物と脂肪と糖分が過多。メインのハンバーガーは。8枚までの「N枚重ね」ができる仕様ですが名称が「バイパス1本」～「バイパス8本」。8枚重ねとか、どんだけのカロリーやねん。そして当然ならばデブ御用達の店なのですが、極めつけは入口に体重計があり「体重が350ポンド（159kg）以上の客は料金が**無料**」。まあ無料だからとここに通う該当デブ、間違いなく早死にするでしょうね…。

ちなみにこのときの筆者は衣類などコミコミで174ポンド（79kg）でした。



ウェイトレスが**セクシーなナース**の格好をしているのが見どころでもあり、まあ基本的にぼくらはそれが目当てで入店したわけですが（笑）。

なんちゃって「入院」という形式をとるので、客は入店時に入院着を着用します。これは出口のところの撮影用車椅子ですね。後ろのイラストにもあるように「残すとウェイトレスが尻を叩く」という**サービス罰則**あり。



PART 3

Magic30



Magic30 の会場である World Market Center



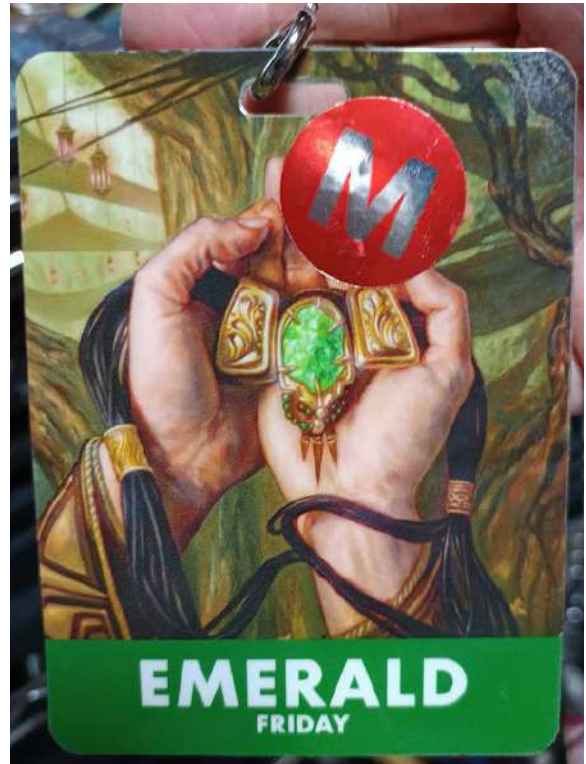
Magic30 の会場は、施設の北寄り

ハンディキャップ優先入場権

まだ 13 時まで 30 分近くあるよな…と思いつつ、杖をつきながら会場前に到着。しばらくは日陰で待とうと思っていたら、スタッフが近づいてきて「あなたは disabled ですか」と聞いてきたので「disabled?」と聞き返したら「handicapped」と言われたので「ああそうか、杖か」と思いつつ「自分ではそうは思っていないが、しかし…」と応えたら「OK」と言われて赤い「M」のシールを参加証にぺたりと。そして「こちらの近道から入って良い」と言われました。なるほど。優先入場の特権ゲット。胸に輝く M マーク。でも「M」ってなんの略なんだろう…。

「きっと、カッコいいマシンだからよ」という言葉が脳裏をよぎります。

「星雲仮面マシンマン」のネタに若い読者がついてこれるかとか、考えてはいけない。



会場入り（金曜日）



近道ドアを通過して、別の金属ゲートの前の椅子に座って 13 時を待ちます。なんとなく 15 分くらい前には入場が開始されたようなので、金属ゲートを通して会場へ。

会場レイアウトは把握していませんでしたが、こちらからだと目の前にバイヤーブースがあって空席もあったので、手近なショップに適当に座って持参したジャッジフォイルなどを売却にかかります。小遣いドルは稼ぎたい。

あらかじめ日本の大手ショップで調べておいた「買い取り

構築は白黒緑で。

Creatures: 15	Spells:9	Lands: 16
《道の探求者》	《見栄え損ない》*2	《オルゾフの聖堂》
《光胞子のシャーマン》	《旅行者の護符》	《謎めいた尖塔群》* 2
《ロッセスのトロール》	《喉首狙い》	《平地》* 5
《クアーサルの群れ魔道士》	《暗殺者の戦利品》	《沼》* 5
《アブザンの鷹匠》	《眼腐りの終焉》	《森》* 4
《弱者の師》	《息詰まる徴税》	
《民兵のラッパ手》	《超現実的決着》	
《墓刃の匪賊》	《蜘蛛の発生》	
《永遠の証人》* 2		
《吸血鬼の君主》		
《巣網編みの変わり身》		
《武勇の選定師》		
《収穫するものテネブ》		
《灰燼の乗り手》		

構築デッキ

Round1 Bartさん 白黒赤 ×○

G1 土地を10枚も引いて、攻めきれず負け。

G2 勝てた。

しかし時間切れの1-1引き分け。双方とも、遅いデッキだったからなあ…。

Round2 Wilsonさん 白青緑 ○×○

G1 ライフ1まで追い込まれるも、なんとか勝てた。

G2 圧倒的敗北。

G3 快勝。

Round3 Philさん 白赤緑 ×○

G1 白マナが出せずに負け。

G2 まあ危なげなく勝ち。

しかし時間切れの1-1引き分け。双方とも、遅いデッキだったからなあ…。

結果1-0-2の5点で終了。悪くないですね。

2人目 青赤

ライフ7の状態に対峙した左を、引き続き空から無双して殴り続けます。少し気が緩んだのか、いささか**ミスプレイ**。相手が厄介なボムクリーチャーを置いてきたので「これはマズイ」と思いながらこちらのターンに入るエンド前に出家蜘蛛の尖塔ダメージで排除した…のですけど、盤面をよく見たら相手はフルタップであり空から続く自分のターンで殴って倒せたので、これは完全な**無駄打ち**でした。いかんですね。勝って兜の緒を締めよ。

3人目 青赤

ライフ17の状態に対峙した左を、基本的には引き続き空から殴り続けます。なのですが、相手のライフをワンパン9まで削った所で、それまでは沈黙を守っていた右プレイヤーがおもむろに《滅び》を打ってきて流されました。あああああ。

陰影でガードしていた鷹匠は引き続き飛行3点で殴れたので、左をライフ6まで削った所で右のプレイヤーが投了して離脱。完全な**最後っ屁**でしたが、まあ、仕方ないですね。多人数戦とはそういうものです。

右が空いたので右に3個移動して席を圧縮します。

さらに左を3点まで削った所で、左が《聖別されたスフィンクス》を出してきて「む」と思うも、フルタップだったのでただちに追放除去呪文を打って倒せました。よし。

この頃には《アブザンの鷹匠》に《怨恨》を貼って空から5点コースに進化。

今回はおかしい停滞もなく、ターンマーカーも適切に管理されている（間に3人はいないと、ターンマーカーを移動してはいけません）のですが、それでもどうしても渋滞が発生。さらに終盤ガンガンとプレイヤーが抜けているので左のプレイヤーが遠く（笑）。まあ、これもやがて座席の移動が行われましたが。

4人目 青緑

ライフ12の状態に対峙。ターンマーカー消滅で自分のターンが飛ばされたりもしたものの、死を覚悟した相手がドロップしたため終了。





よく分かりませんでしたが、QJから中華圏の限定らしいお正月プロモを貰いました。ありがたくいただきます。

その他、飯を食いながら楽しくマジックの話やそれ意外の話。マジックを通した異国の友人との交流。控え目に言っても最高。



フリーモントの夜（金曜日）



明日もジャッジ仕事のQJと別れ、3人でフリーモントをぶらぶら。今はハロウィンシーズンで今日は土曜の夜。23時を回ろうともいつもにも増しての喧噪の中、楽しく歩きます。

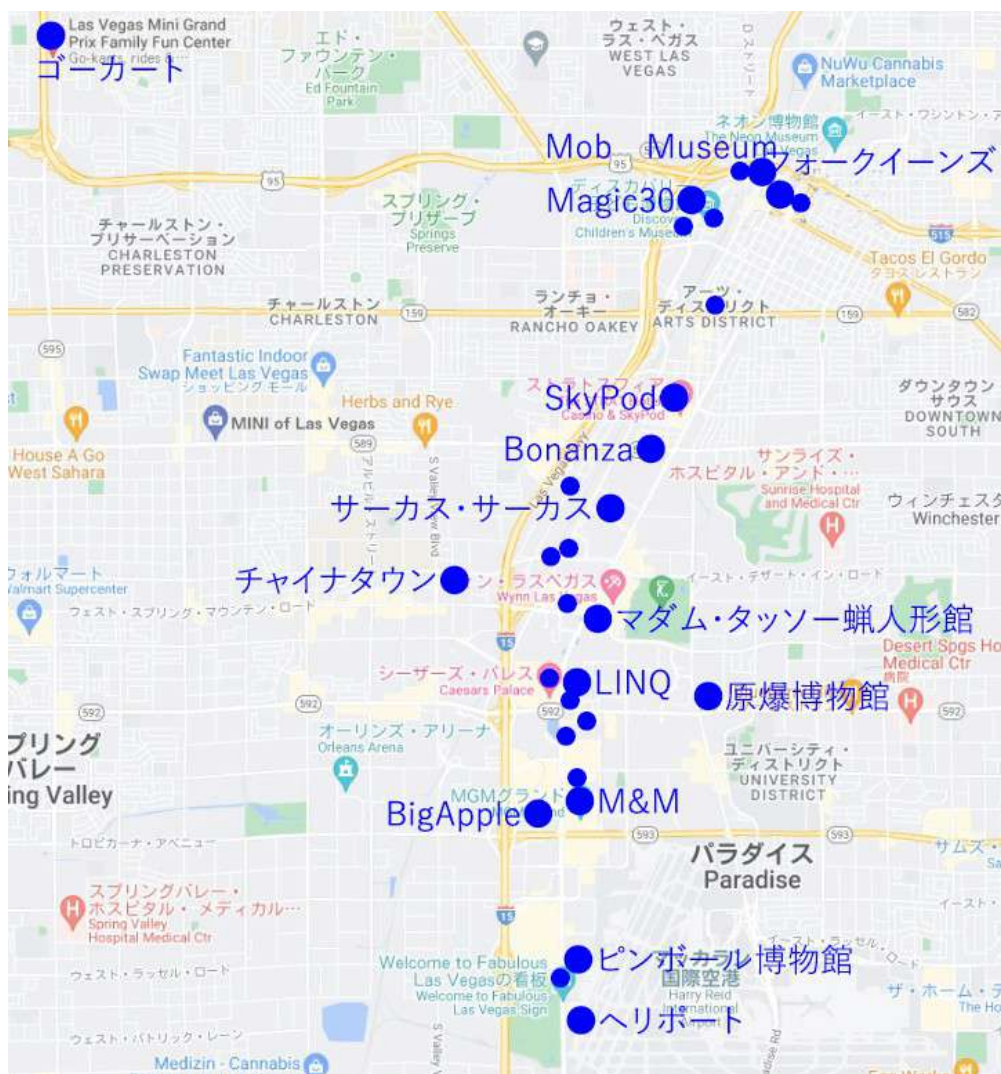
スーパーで寝間着代わりの「4枚\$9.99」のTシャツと、土産用にどうかなと思ったミントガムを買いました。

そして今日は昨日と違ってまだ遅くもないし、やっぱり**カジノ**でしょうということで、遊び場を探します。

アラジンさんが「ジャックポットが出れば1発13億円

PART 4

ラスベガス市内観光



本書で触れた、今回訪れたスポット（大小の●）

なお名前をつけた大きい●のうち、右寄せ（●が右）のものはストリップの西沿い、

名前が左寄せ（●が左）のものはストリップの東沿いです。

だいたいの雰囲気を掴んでいただければ幸いです。

Mob Museum

9時半、バフェイから駐車場を挟んだだけの場所の Mob Museum に移動。

これから3日間は「Go City」All

Include Pass を **できるだけ多く**

使いまくる 計画をたてているので、

まずはこの使い方をマスターせねばなりません。



その意味でこの Mob Museum は正直

それほど期待していなかったし、まず一発目として Go City の使い方を覚えるのが主目的でした。時間も一応たっぷり取ってあるものの、Go City の操作などに手間取り充分に楽しめる時間がなくても最悪物販だけでも覗ければいいや、という感じのゆるめの姿勢でした。

あらかじめ3人それぞれ全員、自分のスマホに Go City アプリを入れ、さらに自分が申し込んだメールアドレスでのログインを行って本日の日付の購入チケットが表示されていることは確認ができていたので、それではと入口に並びます。

そして蓋を開ければ、入口のチケット売り場で各人がスマホのバーコードを示してチェックするだけでチケット購入扱いにできました。とても簡単です。まずこれで \$29.95 のお値打ち です。

さっそく入場。果たして\$30のお値打ち（5千円近いわけです）のある博物館なのかな…と思いつつ、さほど期待せずに入場したものの蓋を開けたら **めちゃくちゃに面白かった** です。

基本は百年前くらいからのギャングの歴史を並べた博物館なのですが、結局それは米国の犯罪史でもあり、このラスベガスの歴史でもあったわけですね。シカゴと並んで米国の2大犯罪拠点。百年前のラスベガスで抗争をして暴れまわっていた奴らの写真とか新聞記事、検察の奮闘と逮捕されて死刑になった奴ら、実際の死体に使用された銃弾（線条痕あり）。ラスベガスという街が犯罪都市から、健全なカジノとショービジネスの街（笑）へとイメージチェンジを図る試み。

そして当時のギャングこそ今は見かけ上は根絶されたものの、21世紀に入ってから、世界的な犯罪組織ネットワークの中で活躍しており（日本のYAKUZAも登場）彼らの資金源を断たねば

バス待ちの間に、今夜の「ヘリコプター予約確認メール」が届きました。よし、あとはちゃんと指定の場所に指定の時間に到着できれば今夜はヘリコプターの夜景ツアーです。

14時40分に、サーカス・サーカスに到着。そのまま奥のロビーに進んで、チェックイン手続きに入りました。チェックイン時間は15時だったように思えたものの「あと10分待て」とかも言われずにそのまま手続きし、部屋に入ります。まあまあでしょうか。

フロアは30階、ここからはなかなかのストリップの良い眺めです。



セキュリティ・ボックスの修理

チェックインしたときの常として部屋のチェックを始めました。ここでセキュリティボックスの電源が入っておらず使えない軽いジャブ。もうマジックの高額カードとか持ち歩きたくないので電話をして修理を依頼します。当初は「電池を交換するだけだろう」と思われたものの、どうも電池を交換しても電源が入らず改めて「修理」のスタッフを呼ぶ羽目に。むむむむむ。

本日これからの予定は、18時15分までに「ラスベガスの看板」のそばにあるヘリポートに移動して受付することが必須で、ストリップ北寄りのここから「ラスベガスの看板」まで Deuce なら30分くらい見たほうが良く、初めての場所を訪れる場合には色々余裕を見るべき。まだ3時間はあるものの、あてもなくいつ終わるかも分からない修理完了を待つには抵抗のある状況でした。

そこでスタッフに「俺たちはこれから観光に出かけたいんだけど、出かけている間に修理をしておいて貰うということでもいいかい」と言うと「俺はお客さんたちのキーカードを預かるわけにもいかないし、部屋を出るときに自分のカードでロックすることになるから、そうするとお客さんたちは戻って来てもこの部屋に**入れなくなる**よ」と言われて「あっ」と気が付く。

いよいよとなれば事情を伝えて「フロントでキーカードの再発行」で良いとは思われたものの、まだ時間には多少の余裕があるので、このまま修理をのんびり待つことにしました。

幸い17時前に修理スタッフが来て即座に修理を終え、17時にはホテルを出ることができました。

「これはこれで」というなかなかお得なビジュアル。脳内では「地獄の黙示録」のオープニング映像とドアーズの「The End」が流れます。

そして自分たちの乗機も発進。ここから始まる夜景の10分は**至福**のひとつでした。割と記憶されつつあるストリップの特徴ある建物を上から見下ろしつつゆったりと移動します。割と重度の高所恐怖症の自分ですが、折り返し点で機体を大きく傾けたところも含めほとんど恐怖を感じません。おそらくは身体がヘリとしっかり固定されていて一体化しているので、足下がぐらぐらするような不安を感じることがないためであると推定します。まあヘリが墜落でもすれば助からないでしょうけどね（笑）。



最初にツアーの案内を見て「たった10分か…」と思ったのも事実ですが、実際にはストリップを一番北まで行ってから折り返すので「これで充分」という感じ。\$154のお値打ちはあると思うし、こりゃリピートありですね。



そして物販。当然ながら搭乗前に乗った写真を売りに出しています。こりゃ買うしかありませんけど、紙の写真が\$12（だったかな）に対してちゃんとしたボードつきが\$38。2人とも買うことはないものの、アラジンさんが\$38を出すことにしたようなので、自分はアラジンさんに\$12を払って、代わりにあとから写真を撮って撮影データを貰うことにしました。問題なし。

あとは自分土産として、このMaverickのマグネット（\$4）や映画「Top Gun」のロゴを模したTシャツ（\$20）などを購入してヘリポートを後にしました。まんぞく。

2022年11月1日（火） 2馬鹿観光旅行

午前7時過ぎ、すっきりと目が醒めます。アラジンさんも起きていたので、昨夜に再度見直した本日の行動予定メモを提示。とりあえずアラジンさんが8時まで軽く仮眠したうえ、行動を開始することになりました。

サーカス・サーカスのバフェイ

8時を回りました。あまり寝ていない筈のアラジンさんも腹は減っているようでしたので支度をして部屋を出ます。まずは朝食からの観光スタート。

まずはサーカス・サーカスのフードコートを覗きました。安くて量が多いので自分が割と鼻屑にしているチキンチェーン店「Popeye's」が店を出していたのですが、この時間にやっているのは別のハンバーガーショップのみ。見送ります。

※ <https://www.popeyes.com/>

隣のランチバフェイはやっていたので入ります。31.42ドル。

喜んで自分の胃袋の容量と相談しながらウキウキと盛りつけますが、**茶色い**。



デザートはフルーツで締めましたが、特にケーキには惹かれるものを感じなかったので見送りました。

うーん…いまの自分の胃袋容量で31ドルの元取りは難しいのは分かっているんですが、にしてもちょっと満足度が高くないです。

ビッグバス

ニューヨーク・ニューヨークを出ると 13 時半。向かいの MGM に戻りました。午後はこれから。そこで次の観光スポット（Bonanza を予定）に行く移動手段として「Go City」の「ビッグバス（Hop-On Hop-Off Big Bus Classic Tour）」を利用することにしました。

ビッグバスはラスベガスでの観光ツアーなのですが、ストリップを中心に市内を 2 階建てバスでのんびりと巡回するという趣向です。昔は人気だったとも思えた観光ツアーですが、昨今ではさすがにコレを「移動の手段」と捉えるのは難がありそうでした。3 台くらい同時運行していて 20 分に 1 本くらい来る感じかな？しかし今回は「Go City」パスの中にコレが入っていて、しかも単体で購入すると \$53 とかいう**かなり高い**シロモノでもあるので、こんなことでもなければ利用することはあるまい＆今回は時間に余裕があるので、ということで利用してみることにしました。



1 番停留所の MGM の下でチケットじじいを発見し、

「Go City」によりチケットを購入。これで \$53 のお値打ちです。パンフレットも貰います。

いくら 1 日券で何度でも乗り降りができる（Hop-On Hop-Off）とはいえ、さすがに Deuce が RTC の 1 日パス 8 ドルで乗り放題なんだから、強気すぎる価格設定じゃないでしょうかコレ。ていうかそれこそ「Go City」利用者ででもなければ今更コレに乗ろうと思わないのでは…。

では次のバスは何分後に来るのかな、と思ってじじいに訊いたらどうやら 14 時、つまり 20 分後らしい。少し待ちますね。いまどきはバスの位置をリアルタイムで掌握するシステムでもあるのかなと思ったけどそんなものはなかったようなので、たぶんじじいが無線でセンターに訊いてる。

近くでどうやら同じツアーのバス待ちをしていると思しきご婦人の 2 人組をニコニコ眺めます。こちらはオッサンの 2 人組なので、声をかければもしかしたら旅先での楽しいひと時を過ごせたかもしれませんけど、いささかふとましいご年配のご婦人たちでもあったので特に声はかけず。心配するな、たぶん向こうも同じことを考えてこのハゲのおっさん 2 人組を眺めてる。

チャイナタウンで朝食

8時半にホテルを出てUberを呼びます。今日の観光巡回ルートはチャイナタウンからスタート。とりわけまだ和食は恋しくないものの、朝食に「お粥」があると小耳に挟んだため、洋食にも少々飽きてきた身としては「食べたいな」と思ったのでした。

チャイナタウンへはここからだとはバス乗り継ぎが必要なので、素直にUberで。交通渋滞で呼んでから30分ほどして到着したUberに乗車。チップをはずむ気にはならなかったものの料金は折半して1人10ドル。まあこのくらいなら良いです。

9時20分チャイナタウンに到着。さて朝食は何にしようかなー、と思い中に入ります。

ほどなく判明しましたが、まだこの時間だとすべてのテナントが開いているわけではなく、ことに朝食を出しているレストランは少なく目当ての「お粥」もそこで出していたので、「じゃあここでいいや」と入店。



残念ながら熱いポット茶などはなかったよう



なので、とりあえずコーラ（4ドル）を注文し、食事メニューをしばし眺めて注文開始。

まずはメインには「鶏としいたけの粥」、さらに小籠包と揚げパン。

お粥が届いたので、当然のようにアラジンさんとシェアをしつつ食べると、これが染みわたる旨さ。点心をつまみつつ腹具合的にもまだ「いけそう」だったので、さらにお粥を追加もう一杯。今度は豚肉とピータンのお粥で。**うまいうまい。**

小籠包も、揚げたての揚げパンも美味しいです。満足して出ます。折半して27ドル。まあ想定内。

探しても会場内には見当たりません。代わりに視界に入るのはスパイダーマンやキャプテン・アメリカやハルク。もしかしてこれフォックス（ディズニー）が**マーベルに駆逐**されたってことなのだろうか。けっこう残念です。

そんなことを考えつつ、16 時前には、マダム・タッソー蠟人形館を後にしました。



Planet Hollywood レストラン

マダム・タッソー蠟人形館で、どうやら本日に観光を予定していたスポットは全部回りました。まだ帰国のフライトの時間にはだいぶ余裕があるものの、そろそろ楽しかったラスベガス一週間観光旅行も終わるときです。

そこでいよいよ最後に、今度こそ Planet Hollywood レストランで、「Go City」のバウチャー \$15 を使用して夕食にして終わることにしましょう。



Deuce でミラージュからはシーザーズ・パレスまで 1 駅を南下したうえで、広々のシーザーズ・パレスの内を探して目的のレストランを発見。

バウチャーの有効期限は 19 時までなので、まだ余裕ですが入店して「Go City」を提示。これで \$15 のお値打ちです。

あとは注文するだけですが、\$15 の割引となれば普通に気が大きくなるものなので「とりあえず

コーラ」のち、サーロインステーキを注文します。

一週間の観光旅行の締めにふさわしい「いい食事」です。おいしー。

PART 5

帰国

月	The Mob Museum	https://themobmuseum.org/	\$ 29.95	P.67
月	ゴーカート	https://lvmgp.com/	\$20.00	P.68
月	ヘリコプター	https://www.maverickhelicopter.com/	\$154.00	P.73
月	Fly LINQ Zipline	https://www.caesars.com/ling/things-to-do/attractions/fly-ling	\$47.50	P.75
月	エッフェル塔	https://www.caesars.com/paris-las-vegas/things-to-do/eiffel-tower	\$30.00	P.77
火	FlyOver	https://www.flyoverlasvegas.com/	\$36.00	P.82
火	The Big Apple	https://newyorknewyork.mgmresorts.com/en/entertainment/the-big-apple-coaster-and-arcade.html	\$23.00	P.83
火	ビッグバス	https://www.bigbustours.com/en/las-vegas/hop-on-hop-off-las-vegas	\$53.00	P.85
火	Señor Frogs	https://senorfrogs.com/	\$20.00	P.88
火	SkyPod	https://thestrat.com/attractions/skypod	\$34.00	P.90
水	エロ博物館	https://eroticmuseumvegas.com/	\$24.00	P.95
水	原爆博物館	https://nationalatomictestingmuseum.org/	\$24.00	P.97
水	人体博物館	https://www.realbodiesatballys.com/	\$32.00	P.98
水	マダム・タッソー	https://www.madametussauds.com/las-vegas/	\$36.99	P.100
水	Planet Hollywood	https://www.caesars.com/planet-hollywood/restaurants	\$15.00	P.101

3 日間の Go City 利用結果。トータル\$579.44。これで料金 3 万円以下とかさすがに破格。

セキュリティ通過

午前3時半、午前4時からの荷物預け列の形成が開始されました。

午前4時、荷物預けが開始され、自分も15分後には荷物を預けて身軽になりました。モバイルバッテリーを1個入れたままだったのを思い出しましたが、もう遅い。ま、大事には至るまい。受取は成田です。その足でセキュリティに向かい、その15分後には通過。Dゲートへのシャトルに乗りました。

いつものように今回も楽しかったですよ、ラスベガス。次は…来年？再来年？

午前5時前には出発ゲート前に到着。では朝食にしましょうか。



すでに売店が開いていたので、ベーコンチーズエッグのサンド8.5ドル、リンゴジュース4ドルの空港価格にて購入。総額13.53ドル。

いささか物足りなそうなサイズだが、今の僕の胃袋にはちょうど良い。ホカホカサンドで8.5ドルは高くないと考えるしかあるまいよ。いずれにせよ13.5ドルは去年でも1500円だし今なら2000円なので、円換算をせず千円くらいの感覚で使ったほうが幸せになれると思う。ごちそうさまでした。朝の薬を飲みます。

さらばラスベガス

午前5時半、土産物屋が開いてきました。

喉が渴いてきたので午前6時半、売店でジュースを購入。5.4ドルという値段に躊躇するも、考えたら負け。俺にできるのは5.4ドル払って美味しい冷たいドリンクを飲むか、無料の水ベンダで



新小岩マジック